

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	CAD2（CAD2）		
ナンバリングコード	L30303	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 建築設計製図
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修：住居・インテリアコース 選択：建築設計コース、建築工学コース、環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L030351	クラス名	-
担当教員名	近藤 正一		
履修上の注意、 履修条件	将来、設計・デザイン系に進みたい学生のほか、コンサルティングにも役立つ演習授業です。Space Designer検定に準拠した課題内容としており、これまでに修得したCAD・BIMソフト等のアプリケーションを駆使し、総合的なプレゼンテーション能力の向上を図ります。これらの分野に興味のある方に、履修をお勧めします。		
教科書	指定なし		
参考文献及び指定図書	Space Designer検定試験 公式テキスト		
関連科目	CAD1・3、基礎製図、CAD製図、設計製図1～5		

○基本情報		
授業の目的	15週間で基礎課題と応用課題に取り組みます。基礎課題では、図面等で指定された項目を正しく読み取り、パース画像を仕上げられることを目指します。応用課題では、説得力のある提案書の作成および、より現実に近いインテリアイメージの演出、魅力的な空間を表現できるプレゼンテーション能力の向上を目的とします。	
授業の概要	Space Designer検定の評価基準をすべてクリアすることを前提に授業を進めます。詳細は、○その他の欄に示します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	BIMを用いたプレゼンテーションテクニックを身につけます。		30点	30点
【知識・理解】	空間の構成要素について理解し、製図法を修得します。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	設計製図にCADの学びを活かせるようにします。		20点	
【思考・判断・創造】				
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。 提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバック方法については、次回以降の授業中に講評・解説を行います。				

○その他
前半の基礎課題は、以下のとおりです。 ①配布図面から正しく空間形状が読み取れる。 ②エレメントが正しく作成、配置できる。 ③3Dデータの読込が適切に行える。 ④内装仕上げ材が正しく表現できる。 ⑤造作家具、置き家具、照明などの素材が正しく表現できる。 ⑥光源およびアングルの設定が適切に行える。 ⑦全体の色合いなどをバランス良く表現できる。 後半の応用課題は、以下のとおりです。 ①内装材や家具の質感が現実的に表現できる。 ②照明器具の光の透過やテクスチャが現実的に表現できる。 ③指定条件にある家族構成・ライフスタイル、およびインテリアスタイルに合致したインテリアエレメントが選定できる。 ④インテリアスタイルの統一ができる。 ⑤表現するインテリアスタイルが適切なカラー・フォントで構成できる。 ⑥提案書として必要なパース画像を補完するデザインコンセプト、イメージ画像、パース画像等が貼付でき、かつその内容が指定のインテリアスタイルに合致したものとなっている。 ⑦バランスのよい魅力的な提案書が作成できる。 ⑧細部まで作りこまれ、課題のテーマに沿ってまとめられる。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	CAD2（CAD2）	授業コード	L030351
		担当教員	近藤 正一		
学修内容					
1. 課題説明					
課題内容と評価基準・達成目標について説明します。 15週間で、配付資料をもとに3Dモデルを作成し、指定されたパース画像の作成、および提案書を完成させます。					
予習		CADの基本操作について調べておく。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
2. レイヤ・縮尺の設定／通り芯の入力					
基礎課題に取り組みます。まずは、基本的な図面の設定と作画のために必要となる下書きをします。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
3. テクスチャの読み込みと設定					
リソースマネージャを利用し、読み込んだ画像のサイズ指定、シェーダ指定などをします。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
4. 壁・柱の入力／テクスチャの設定					
室の躯体を構成し、適切な仕上げを想定して質感が現実的な見え方に近い表現となるようにします。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
5. 建具配置／建具部位別テクスチャの設定					
造作家具、置き家具、照明などの素材が正しく表現されるように配慮し、内装材や家具の質感が現実的な見え方に近い表現となるようにします。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
6. 床の作成・テクスチャ方向の修正／天井の作成					
素材（画像）・色調整・質感など、内装仕上げ材が正しく表現されるように様々な設定を行います。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
7. 造作家具等のモデリング					
配布図面から正しく空間形状を読み取り、造作家具を正しく作成します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
8. 3Dデータの読み込みと配置					
3Dデータの読込を正しく適切に行い、それぞれの場所にふさわしいディスプレイ内容であるかバランスを検討しながら配置します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間

○授業計画		科 目 名	CAD2（CAD2）	授業コード	L030351
		担当教員	近藤 正一		
学修内容					
9. 太陽光の設定・光源の設置／レンダーカメラによるアングルの設定					
窓からの日差し（太陽光）、パース全体の明るさ、影の表現、また照明器具の光の透過やテクスチャ等が現実に近い表現となるよう調整します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
10. レンダリング・仕上げレンダリング／基礎課題の提出					
レンダリングの様々な設定を試し、適切な仕上げレンダリングを実施します。					
指定されたすべてのパース画像を提出します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
11. 基礎課題提出締め切り日／ウィンドウトリートメント・ラグ					
これまでに取り組んだ課題の最終提出締め切り日です。これ以降の提出は受け付けません。					
次に、応用課題に進みます。まずは、ウィンドウトリートメントを正しく表現します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
12. 点景（絵画・植物・食器・飾物等）／人物の配置					
基礎課題で作成したモデルにインテリア小物など・人物を加え、提案書を見た方たちが現実的なイメージを抱けるパース画像に仕上げます。問題の条件から読み取れるインテリアスタイルに合致した添景であるか、指定の家族構成・ライフスタイルを考慮した添景が挿入されているかが重視されます。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
13. シートレイヤ					
インテリアコンセプトをまとめ、パース画、イメージ画像、コンセプト、メッセージなどをバランスよく配置した提案書を作成します。					
必要なパース画像を補完するデザインコンセプト、イメージ画像等を貼付します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
14. カラーコーディネート					
提案書の内容が指定のインテリアスタイルに合致したものであるか、バランスのよい魅力的な提案書であるかに配慮し、表現するインテリアスタイルとして適切なカラー・フォントで提案書を構成します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
15. プレゼンボードの完成／振り返り					
この授業を通して、説得力のある提案書の作成および、より現実に近いインテリアイメージの演出、魅力的な空間を表現できるプレゼンテーション能力が向上したことを授業の「振り返り」により確認します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
16. 応用課題提出締め切り日					
これまでに取り組んだ課題の最終提出締め切り日です。これ以降の提出は受け付けません。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間